

ときがわ町・路線バスと デマンドバス併用活用！

10月18日、「皆野の町づくりを

考える会」のメンバーは常山町会
議員と一緒に、ときがわ町の公共
交通システムを視察しました。

“ときがわ方式”と言われるぐら
いで、他の地域にないシステムで
す。ときがわ町では

○通勤は町外がほとんど、通学も
町内には工業系が一枚で、ほとん
どが町外の高校へ。

○食料品、生活必需品などは小川
町、嵐山町、越生町等。

○町内には個人の診療所しかなく、
総合病院は小川町、毛呂山町等。

住む地域により最寄は、東武鉄
道の小川町駅、武蔵嵐山駅、越生
駅を利用します。

従って、バス路線はこの三駅に
設定され朝夕は三〇分おき、それ
以外の時間帯は一時間に一本走っ

ています。

**バス路線がない、遠い地域を
デマンドバス(予約制)がカバー**

高齢者のみの世帯の増加、山間
部ではバス停と自宅の高低差が1
00mを越える。

高齢化でバス停までさえ遠いなど
の要望からデマンドバスが導入さ
れました。(写真)

デマンドバスの導入により、路線
バスの通っていない地域、バス停
まで遠い地域が救済されました。
ときがわ町方では、ドアツウ・



10人乗りワゴン車

ドアでなく、バス停方式にし、時
間の節約はかり、その分バス停を
家々の近くに設定した。

町の担当者の説明では強調され

たのは、アンケートを実施し
たり懇談会を何回も開催し現

在のシステムにたどり着いた。

国や県、その他有効な補助金を活
用していること、そして民間事業
者を大事にしている点が参考にな
りました。

